

内山大三筆

与板町だより

12月 (No. 30)

昭和43年12月10日 発行/与板町 (代表者与板町長内山大三) 編集 与板町だより編集委員会



● 平野部で局地的に大雪か

今冬の長期予報新潟地方気象台が発表

今年もう師走これからまたこの冬の降雪量が心配になってきますが新潟地方気象台では12月から2月迄の長期予報を発表しました。

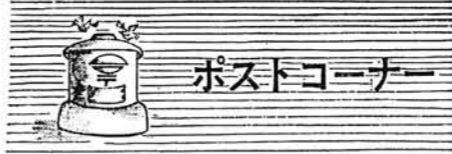
これによるとこの期間は寒暖の変動が大きく1月を中心に平野部でも局地的に降雪が多くなる期間があると注意を呼びかけています。雪は私達の生活に大きな影響を与えます。大雪にならないようお願いいたします。

人口の動き			
11月30日現在			
()は10月末との比較			
人口	8,220人	(- 8人)	
男	3,980人	(- 1人)	
女	4,240人	(- 7人)	
世帯	1,776	(0)	
出生	13人	死亡	6人
転入	17人	転出	32人

おもな内容は
 今年の産米五万九千俵に... 2
 冬期間の道路は町の... 2
 歳末たすけあい運動実施中... 3
 道路の除雪に協力... 3
 冬期及び年末年始における... 3
 交通安全事故防止強調期間... 4
 良寛さまの書簡と与板... 5
 積雪時のごみ収集とし尿の... 5
 汲取りについて御協力を... 6

12月から2月迄の天気概況

- 12月概況
前半は高気圧が西日本方面に張り出し山沿地方では雪が降りやすく、後半は年末が荒れもようになりそうです。月の平均気温は平年並か高めの見込みです。
- 1月概況
上旬と下旬に大陸の高気圧が発達し平野部でも局地的に降雪が多くなるおそれがあります。中旬は冬型は弱りましょう。月の平均気温は低めの見込みです。
- 2月概況
例年のように時々冬型の気圧配置が現われ降雪が多めとなる期間があるでしょう。



小包は12月15日
年賀状は12月22日 }までにお出し下さい

小包郵便物
 ▲小包は12月15日までに、包装荷造りはしつかりと、途中でこわれたり、中身が抜け落ちたりしないよう厳重に包装し、ヒモは十文字かキ文字にかけないようにしましょう。

年賀郵便物
 ▲年賀状は12月22日までに受け付けは12月15日から始まります。特別取り扱い期間は28日までですが、元日配達にまにあうようにぜひ22日までにお出し下さい。なお、沖縄あては12月20日までに出して下さい。

出し方 ①「与板局配達受持区域あて」②「新潟県内あて」③「県外あて」の三つに分けて束ね、それぞれ付せんをつけて出してください。お年玉つき年賀はがき以外のはがきを年賀状として出すときは、表面の左側に「年賀」と朱記しましょう。

▲あて名は正確に、あなたの郵便番号もお忘れなく、年賀状はあなたの郵便番号を先方へ知らせるよいチャンスです。あなたの住所にぜひ書き加えてください。

積雪時のごみ収集とし尿の汲取りについて御協力を

冬期間、特に積雪下におけるごみ収集と、し尿の汲取りについて御協力をお願いします。

☆ごみ収集について
 イ、危険物は各家庭に留めて置いて、雪が消えてから排出して下さい。
 現在危険物を捨てている場所までの道路を、除雪するのが困難であること。一般のごみ収集能率が、雪のため低下すること等の理由によるものです。

ロ、蔵小路、馬場丁、泉丁等積雪が多くなると、自動車を通れなくなる町内では、自動車を通れる場所まで、ごみを出していただくよう

ハ、積雪により自動車が、予定通り運行出来ないこともあり、積雪により、一応次の計画(順路)に従って、週前半(月曜、火曜)と後半(木曜、金曜)で各一順するよう努めて居ります。

馬場丁・泉丁・長丁・下丁
 土木事務所前・原・稲荷町
 新町・堂前・東与板・五軒
 丁・仲町・上町・片町・安永
 ・舟戸・横町・蔵小路・堤下
 ・山沢住宅・倉谷・柳之町の順に収集します。

イ、積雪によつて自動車の通

れる所が限られて参りますので、早めに汲取りをしていただくよう手配して下さい。

ロ、最近汲取り料を現金で支払われる方が増えているように見受けられますが、必ず汲取り券を買ってお支払い下さい。

汲取り券の取扱者は次のとおりです。(敬称略)

倉谷・佐々木一昭、堤下・笠原英明、蔵小路・米山光男、上町・星光夫、安永・小林製所、横町・渡辺泰啓、舟戸・小原栄一、仲町・久住良三、堂前・永井健蔵、東与板・久保喜久次、板垣勝介、中川岸住誠治、皆川峰造、南新・久場久次、堀政栄、吉田一夫、馬場丁・浜田雅道、泉丁・小林正一、長丁・岩本政一、下丁・佐々木康夫、北新・藤井正博

民生委員が選任されました

民生委員の方々には地域住民の福祉向上のためにみずからすすんで奉仕活動をすることを使命とされ、住民の個々に当面した諸問題の相談役、世話を引き受けられることになっております。皆さんの御協力をお願いします。

新委員は次の人達です。

眞島 平次
 前波 純一
 田村 太郎
 久住 与平
 大島 勝二
 中島 晃
 山田 晃
 石丸 晃
 荒木 敏
 竹内 蓮
 遠藤 栄七

横町 堤下
 上町 横町
 中町 上町
 堂前 中町
 稲荷 堂前
 長丁 稲荷
 本与板 長丁
 岩方 本与板
 廣野 岩方
 蔦都 廣野

今年の産米5万9千俵に

米多収穫競争会では 笠原和雄氏に最優秀賞 新潟県知事賞など授与される

米一〇〇万ト達成運動は二年目を迎えて、
①早まき早植えの是正
②施肥の合理化
③土づくり
の三つを重点事項にとりあげ活動した。年々早まき早植えの田植も今年の一部を除いてその早まり方がとまり、施肥の改善特に穂肥について、は稲の生育に見合った使用法(時期量・回数)がよく徹底した。
気象の面からみると全般的には好天であったが、五月中旬における低温、六、七月の異常な空つゆによる用水不足八

月の日照不足などマイナスの要素もあつたが病害虫防除の徹底等により大豊作と云われた前年を上廻る作況指数一〇九となつた。
産米課十月末現在でまとめた当町の水稻予想収穫量は、五九、二七四俵で昨年より二、五〇〇俵の増収となり、町の一〇〇アル当り平均収量は五七七キ(約九俵半)で前年より一〇アル当り一七キの増収となつた。
新潟県の平均一〇アル当り収量は五一八キで初めて五〇キ台を記録し全国第五位の高収量で上位に進出した。
与板町の多収穫競争会では六〇点の出品があり品種別では日本海二七点、越みのり九

点、レイメイ七点等であり入賞者は別表の通りで十一月十九日公民館において表彰式が行われた。
最優秀賞笠原和雄氏(三六才)に新潟県知事賞、新潟日報社のこがね賞が授与された。亦団体部門で最も高収量の山沢農家組合にも、県知事賞、こがね賞が手渡された。
来年度の課題としては本年以上の収量を上げるとともに如何にして品質を高めてゆくと云うことである。それには
(1)適期播き、適期植
(2)密植化による良質茎の確保
(3)土づくりと施肥の合理化
(4)用排水管理の適正化
(5)発生予察の強化と防除の徹底
(6)優良品種の普及
(7)乾燥
などの技術対策の徹底をはかる必要がある。

米多収穫競争会上位入賞者成績表

順位	部落	氏名	品名	10原一ル当量	坪株当り数
最優秀賞	横原	笠原和雄	フジミノリ	776.6kg	63.4
優秀賞	山沢	枝村利男	日本海	762.1	75.0
優良賞	横山	大橋晃男	〃	760.5	54.9
〃	横山	風間丈男	〃	752.9	61.3
〃	横山	本村栄松	フジミノリ	745.7	68.9
〃	横山	小林章平	日本海	743.2	61.8



やさしい議会知識 (7)

問 条例と規則はどう違いますか。

答 条例、規則は府県市町村の自主立法であります。但し、制限することがあります。条例と規則に上下関係はありません。しかし、条例の施行細則を規則に委任した場合は条例が規則に優先するものと思えます。

条例の特色は

1. 条例は議会の議決が必要であります。
2. 条例は県、市町村の事務について制定できます。
3. 条例は一般に刑罰規定を設けることができます。

規則の特色は

1. 規則は知事、市町村長が単独で制定できます。
2. 規則は知事、市町村長自身の権限に属する事務について制定できます。
3. 規則は過料を科す旨を定めることができます。

問 臨時会はどんな場合開くのですか。

答 与板町議会定例会条例では「年四回招集する」と規定しておりますが、しかしそれでは緊急の場合や次の定例会まで待てない事件を処理しなければならぬ場合は、特定の事件に限って招集されるのが臨時会です。したがって「招集を目的とした事件」に限定されます。「招集を目的とした事件」は告示しなければなりません。その事件以外のもは審議できないのが原則です。しかも議決すべき事件でなければ招集できません。

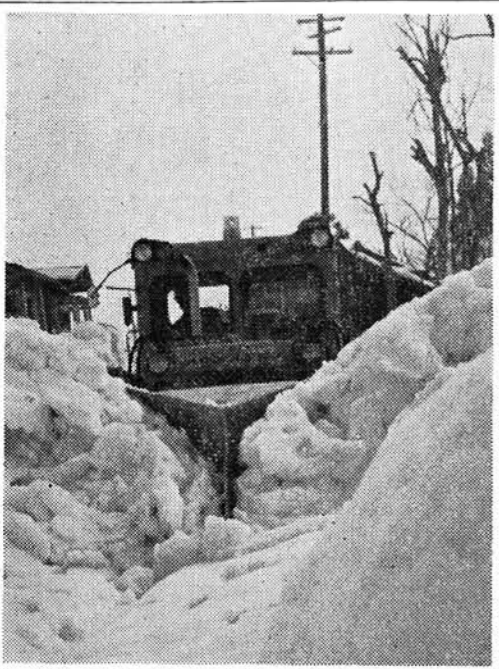
与板町の最近の臨時会は10月15日に招集されました。この日は船戸町に火災のあつた日です。議案の告示には「一般会計の補正予算」とされています。この場合「災害対策について」と告示しても対策は議決すべき事件でないため、議案招集の理由にはなりません。

そこで「補正予算」とし歳出に災害救助費が計上されており、目的の事件が審議できるために、そのようにしたものです。

冬期間の道路は町のいのちのちづな 道路の除雪に協力を

また、今年も雪の委節「冬」がきました。雪は私達の生活に大きな影響を与えています。道路とは自動車の常に通れるところを言う「この言葉はこのまま多雪地帯の道路対策の結論にもあてはまりません。「雪路」を「道路」にすることは、冬期間における住民生活を直接左右する大きな問題であります。町では今年除雪ブルドーザー一台を購入し、県の除雪計画に基づき県道及び町道の除雪に万全を期してまいります。特に除雪が円滑に行なわれるよう地域のみならず、町の全面的な協力と次の点について十分な注意をお願いします。

- 一、道路上に木材・家財・機具などを放置しないこと。
 - 二、屋根の雪などを道路上に投げ出さないこと。もし、やむを得ず投げ出した場合は車の運行に支障のないよう、すみやかに取り除いて下さい。
 - 三、道路に直接面した家屋の出入口・窓・植木などはできる限り防護策をとって下さい。
 - 四、道路上の駐車は避けて、除雪作業に支障がないようにすること。一車線の所には所々に交換所(待避所)をもうけますが、そこへの駐車と、道路上の夜間の駐車はしないで下さい。
- 注 県道長岡・寺泊線の「千体橋」から「原裏橋」の間は冬期間、駐車禁止となります。
- 除雪順序 (上方面)
分室出発→仲町→船戸(船戸橋まで)→たねはな橋→給食センター前→星殿橋→県道長岡与板線→葛都→黒川公民館前→広野地内→町界まで→黒川農協前→吉津地内→吉津橋→中田地内→県道長岡寺泊線→南中地内→横原南中線→横原駅前→県道与板原線→堰
- (二号車) (下方面)
分室出発→別院橋→中学校前→高校前→五軒町地内→中島町営住宅地内→中河岸→上河岸→堂前→北越銀行前→長丁→馬場丁→徳昌寺下→小学校脇→泉丁地内→長丁地内→昭和通り→警察前通り→下丁地内→土木事務所前→とつ巾堂地内→保健所前→本与板農協前→県道与板北野線→当之浦岩方線→岩方地内→し尿処理場→馬越地内→滝谷地内→本与板地内→県道与板北野線→稲荷町→新町地内→仲町→分室着。



【3】
三、道路に直接面した家屋の出入口・窓・植木などはできる限り防護策をとって下さい。
四、道路上の駐車は避けて、除雪作業に支障がないようにすること。一車線の所には所々に交換所(待避所)をもうけますが、そこへの駐車と、道路上の夜間の駐車はしないで下さい。

税相談室



「譲渡所得」
財産を買い換えた場合
問 私は住宅が古くて克つ長男に嫁をもらわなくてはならぬので田二反を売って住宅を新築しました。が、人の話しをきくと不動産所得税が課せられる様な話でしたので、金がなくて困まるのです。

答 物価高の今日大変な事業で御座います。御質問の件について良い方法がありますので申し上げます。御質問の件は、先づ二反を(家、土地を含む)①売り②その売った日の前後一年以内に住宅を建て使用し③田を売った年分の確定申告書にこの特例を受けた事を記載し④売った資産と新築工事費の明細書並びに住宅の登記簿謄本等を添えて(次回は所得控除についてお答え致します)もよりの相談機関に相談して下さい。

歳末たすけあい運動実施中

12月1日より12月31日まで
毎年末に際し、実施してまいります「歳末たすけあい運動」については、町民各位のご協力によつて、大きな成果をあげております。厚くお礼申し上げます。

この運動の趣旨は、歳末に気の毒な人への愛のプレゼントをしようという事で共同募金の一環として行なわれるもので、これは一種の使途指定寄附金であります。「みんなそろって明るいお正月を」をスローガンにこの運動が展開されております。
この義援金は、この町の舟戸火災々害にお見舞品ありがとうございました。厚くお礼申し上げます(敬称略)
日本赤十字社新潟県支部
三古社会福祉事務所
新潟県共同募金会
長岡通勤友の会
与板町日赤奉仕団

冬期及び年末年始における

交通事故防止強調期間

期間 43・12・1～44・2・28

スリップ事故に注意

最近、マスコミ関係には悲惨な交通事故が数多く報ぜられております。当町においてもこの数年このような悲惨な重大事故が連続して発生してその対策が急がれておりますが一向に減少せず、むしろ事故は増加しつづけております。

その事故を分析して見ますと事故の大半は人の不注意により発生した人災であり人の力、注意により絶滅できるものであります。

これから降雪期を迎え、風雪雨及び凍結等により一層交通条件がきびしくなります。又、年末、年始の繁忙期を控え交通事故が多発する要素が積み重なつてきます。充分注意して下さい。

交通事故は自分一人が犠牲者ではありません。今迄交通事故により働き手や失った家庭の悲惨な状況が数多く報道されております。充分に気を付けて交通事故をゼロにし明かるい住みよい町にしましょう。

◎運動の目的

冬期及び年末年始における本県の交通事故はスリップが多い。これらの事故を防止するため、この強調期間を設定し事故の絶滅を期することを目的とする。

◎期間中の重点目標

- 一、冬期の交通事故防止
 - (一)自動車にはタイヤチェーンを装備しよう。
 - (二)路面に応じた安全速度を守ろう。
 - (三)急発進、急ハンドル、急ブレーキはやめよう。
- 二、年末年始の交通事故防止
 - (一)飲酒した人に運転をさせない。
 - (二)つかれた人に運転をさせない。
 - (三)自分の歩行の安全に責任をもつ。

◎目標に対する注意事項

一、冬期の交通事故防止
タイヤを必ず装備し運転しましょう。湿雪や凍結した道路

ではスノータイヤだけでは不十分です。必ずチェーンをつけて走行して下さい。又、急ハンドル、急ブレーキ、急発進はスリップ事故のもとです。思いもかけない方向に車が向いたり、転倒したりします。絶対にやらないで下さい。スピードの出過ぎは重大事故を起こします。雪の上ではスピードは四十キロ以下にして下さい。追突事故が起きやすいので車間距離は普通道路の一・五倍以上とつて下さい。この他冬期間は運転していく時に必ずスコップ、砂袋、針金を用意して下さい。スリップしたときやチェーンのきれたときに大変役立つからです。

歩行者は道路を横断する時には必ず手を上げて合図をして渡して下さい。合図してもすぐ道路に飛び出さないように。雪路では自動車の停止距離が長くなります。自動車の停止距離を確かめてから渡して下さい。

二、年末年始の交通事故防止
年末年始には飲酒の機会が多くなり、これに関連した交通事故が急増します。又、歩行者はきざしから考えながら歩く人、よそ見しながら歩く人など交通に注意しない人が多くなります。交通には充分注意して下さい。

飲酒運転の防止
少し位という考え、自分だけは大丈夫という考えを一掃し飲酒した場合には絶対運転しない。運転する人には周囲の人も絶対に酒をすすめない。どうしてもさけられないときにはビンにつめてもらって家で飲むようにする。酒を飲んだ人が運転しようとするときは周囲にいる人は勇気をもつて運転をやめさせよう。これは勇気のいることです。事故を起こしてから苦しむことを考えれば、この勇気は決して無駄なことではなく、むしろ相手には親切なものになります。

以上の点に気をつけてこの期間中には事故を一件も起こさないようこの運動が有意義なものになるよう皆さんの御協力をお願い致します。

冬期のスリップ事故を防ぐには

これから寒さがきびしくなつてくると各地で、積雪や凍結による車のスリップ事故が多発が予想されます。そこでこれらの事故防止に役立てば二月十四日に長岡市内で行なわれたいと思います。

スノータイヤの過信は禁物 新潟県の雪質にはチェーン装備が安全

●実験当日の状況
時間 8.00～9.30 天候 小雪 気温 +0.3度
路面状況 しまり雪、圧雪面 1.5cm
●使用車輛 普通乗用車

タイヤ条件	スノータイヤ			スノータイヤ後2輪チェーン		
	平均速度	停止距離	転向角(横すべり量)	平均速度	停止距離	転向角(横すべり量)
30km/h	32.4km/h	25.4m	前左 6°30' (0)	32.2km/h	16.3m	0 (右 0.4m)
40	41.8	43.0	前右 29°20' (中 2.2m) (右雪壁に衝突)	42.3	25.9	後右 56°10'
50				48.0	39.4	0 (右 0.6m)

タイヤ条件	スノータイヤ全四輪チェーン			スパイクタイヤ		
	平均速度	停止距離	転向角(横すべり量)	平均速度	停止距離	転向角(横すべり量)
30km/h	29.5km/h	8.8m	後右 15°20' (0)	27.7km/h	15.2m	前右 3°15'
40	39.2	12.6	0 (0)	36.7	23.5	後右 2°10'
50	50.0	20.8	0 (0)	47.4	33.6	後右 10°50' (右 0.4m)

実験結果はスノータイヤに4輪チェーンをつけた場合(C)が一番距離がみじかい。

長谷川さん(岩方)の ドイツ三色が二位に入賞

県錦鯉品評会で

第八回全国農業祭参加新潟県錦鯉品評会が十一月七日、長岡市悠久町県営長岡プールで開催され、県内三十六市町村より五七四点が出品され、その美を競った。当町も、町品評会で入賞した錦鯉十三点を出品した。この結果、第二部紅白三色の部で岩方長谷川伊太郎さん所有のドイツ三色が二位、第三部写りもの部で馬越部落の耕写が第二位と云う成績をおさめまし

錦鯉の越冬

最近庭池などで鯉の飼育が大変盛んに行なわれており、すが大切な鯉を死なせないよう、越冬してやつて下さい。

(1)当才の越冬
・水深一メートル
・三・三平方メートルに三百～三百五十匹

(2)二才以上
・水深一メートル
・三・三平方メートルに二百五十匹

雪の重みにたえる作りで運動しないよう、暗くすること(ツバキ又は杉の枝をつるしてやると効果的である)又炭酸ガスが充満すると悪いので、空気の流通を良くしてやる。(雪の上に出るよう竹を使用すると良い)尚コンクリート池の場合土又は岩土を少し入れること。

冬は体力が弱く病気に対する抵抗力がないので病気にかかりやすい。特に赤斑、白点尾腐病などが発生しやすいので、水の消毒(マラカイドグリー)塩分を少量与えるなどしてやる。

冬期雪や氷のため死なないよう飼育中と同じく温い手当てを怠つてはならない。

十二月三十一日に

工業統計調査が始まります

良寛さまの詩筒と手紙

弟由之宛のもの (一)

この書筒は三首の短歌であるがそれがそのまま書筒である。最初に「このごろ出雲崎にて」とあるから良寛さまがたまたま出雲崎へ行つた時の感慨を弟の由之に書き送つたもので、当時に書かれたもので、当時の由之は追放の身で恐らく与板の松下庵に住んでいた頃のことであろう。読み方と解説は次の通りである。

一、読み
由之老 良寛
このごろ出雲崎にて、たちねのははがたみとあさゆふに佐渡のしまべをうち見つるかも。

いにしへにかはらぬものはありそみと、むかひにみゆるさどのしまなり。

くさのいほにあしざしのべとおやまだのかはず(三)この心をきかくしよしも

良寛さまは御存じの通り万物に対し深い愛情を持っていたが特に親しいで兄弟肉身等一族への愛に燃えていた人であった。

第一首は佐渡を海上遙かながめて「亡きお母様か

として迎えた以南と結婚した人で良妻賢母の誉高い女性であった。名家の零落する際であつたから家計や子供の養育にはどんなに苦労したか察するに余りがある。

四十九才の若さでこの世を去つた。良寛さまはその時二十六才、玉島円通寺に修業中であつた。死亡の時は天明三年四月二十九日である。

